

平成 30 年全国研究集会・分科会発表者各位

固定チームナーシング全国研究集会・分科会発表のお知らせ

残暑の日が続いていますが、お元気でお過ごしでしょうか。

お待たせしました。ご発表いただく分科会が決まりましたのでお知らせします。

ご希望に添えなかった方もおられるので申し訳なく思います。どうぞご協力をお願いいたします。今年の発表総数は **175** 題です。(内ポスター発表は **35** 題)

1～13 会場の方は口述 (パワーポイント使用可) 発表時間 7 分

14 会場の方は示説 (ポスターセッション) 3 分で発表していただきます

1. 添付文書 ①この文書

②分科会会場プログラム (8 枚)

③全体プログラム

④口述 (パワーポイント) 発表の方へ

⑤示説発表の方へ をよく読んで対応をお願いします。

2. 口述発表の方は、パワーポイントデータを、事務局までメール添付で送付して下さい。締め切りは **8月24日(金)** 必着です。詳細は④文書を確認して下さい。示説発表の方は、ポスターは、当日持参して頂きます。詳細は⑤文書をご確認下さい。

3. 当日受付用の「**発表者名簿**」を作ります。原稿を元に作りますので、発表者変更時はすぐメールでお知らせください。お知らせがないとき変更していません。受付時、お名前がないときは最初申込みされた方の名前をおっしゃってください。

4. 同封の**分科会プログラム目次**を確認して、あなたのテーマ、お名前、所属に誤字、脱字がないかをチェックして下さい。あれば **8月10日(金)** までに事務局へメールしてください。電話では受け付けません。期日を過ぎると資料集の印刷を行うため直せません。分科会プログラム目次の誤字・脱字をチェックしていただき間違いを防ぎたいのが上記の趣旨です。**あなたの原稿の誤字・脱字を訂正することは出来ません。資料集の原稿の差し替え、訂正はもうできません。**

5. 当日は、一般受付ではなく、「**発表者受付**」で必ず受付をして下さい。

6. データ送付時、お問い合わせ時の注意

① 資料NO (**1～175**) はあなたを特定する番号です。

データの送付時や、今後のご連絡やお問い合わせのとき、この番号をメールしてくださると確認しやすいので助かります (たとえば5会場-2群-資料番号 **55** など) ご協力ください

② お問い合わせは必ずメールをお願いします。

メール 事務局 [kotetizenkoku@koteti.com](mailto:kotetizenkoku@koteti.com) サブメール [batabataco@yahoo.co.jp](mailto:batabataco@yahoo.co.jp)

お返事は、返信メールで行います。

---

看護組織開発研究所

固定チームナーシング研究会事務局

住所 〒654-0162神戸市須磨区神の谷5-10-48

電話 078(791)4744 FAX 078(791)4054

メール [kotetizenkoku@koteti.com](mailto:kotetizenkoku@koteti.com)

# 平成30年固定チームナーシング全国研究集会 プログラム

テーマ「激動の時代、小集団活動でバランスのとれたケアに挑戦!!」

10:00	開会 オリエンテーション(会場:ホテル南館・ポートピアホール) 総合司会 高橋 純子(石巻赤十字病院)
10:05	会長挨拶 西元 勝子
10:10	基調講演 テーマ 『国試対策の現場から見えてくる若者気質と後輩育成』 さわ 和代氏(さわ研究所kk代表取締役・助産師) 座長 北神洋子(IMSグループ本部事務局看護局長・ 固定チームナーシング研究会副会長)
11:50	
12:00	分科会:発表交流会オリエンテーション
12:20	昼休み:ランチョンセミナー(12:20~13:15) ホテル本館B1F 偕楽1・2・3 セミナー1(偕楽1) 『地方の病院も頑張っています！ 宇和島って島じゃないよ。いっぺんきさいや』 市立宇和島病院看護部 セミナー2(偕楽2) 『高齢者医療:在宅、医療機関、高齢者施設、USAワシントン州の場合』 ワシントン州保健福祉管理局 北野敬子 セミナー3(偕楽3) 『スキン-ケアを予防しましょう、 紙おむつを正しく使用できていますか？』 佐世保市総合医療センター・花王プロフェッショナルサービス(株)
13:15	
13:40	発表交流会(第1~第13分科会 分科会プログラム参照) 第14会場ポスターセッション(ホテル南館1F大輪田A) 13:40~15:10
16:40	閉会(各分科会 終了次第解散)
17:00	終了

## 口述(パワーポイント)で発表される方へ

固定チームナーシング全国集会 事務局

### 【発表用パワーポイントを作成する際の注意事項とお願い】

1. パワーポイントデータは、5MB以下のデータサイズで、事務局にメール添付で送ってください。データサイズが大きすぎると、届きません。  
写真ファイルサイズを小さくするなど、データを少なくするようお願いいたします。  
どうしても、送れない場合は、事務局にメールでご連絡ください。別メールアドレスをご案内いたします。

**データ送付期限 8月24日(金) 厳守**

期限を過ぎるとパワーポイントによる発表はできません。

**発表当日にパワーポイントの差し替えはできません**

**送付先:kotetizenkoku@koteti.com**

2. パワーポイントは、ファイル名を“**資料番号 施設名 発表者名.pptx(ppt)**”としてください。スライドサイズは標準(4:3)で作成してください。Macで作成したものは使えません。
3. 事務局にデータが届き内容を確認しましたら、データ受け取りの返信メールを送ります。3日以内に返信メールが届かない場合は、届いていない可能性があります。事務局にメール kotetizenkoku@koteti.com で問い合わせをお願いいたします。
4. データにセキュリティ(暗証番号等)はかけないでください。  
事前準備の作業に支障をきたします。
5. 多量の画像、動画、音声ファイルの使用はしないでください。  
動画ソフトは多様にあり、発表者の方が使用した動画ソフトを組み込んで提出されても、会場ではうまく動作できないことが多々あります。進行をスムーズにおこなうため、ご理解・ご協力下さい。
6. 発表時のトラブル  
開いた画面上の文字ズレの発生や、発表途中でフリーズした場合の対応  
文字ズレは気になさらず、内容でカバーしてください。フリーズした場合は、口述発表を続けてください。画面の再展開は(残念ですが)しないで進行させていただきます。  
※ パワーポイントがうまく作動しない場合を想定した練習をお勧めします。
7. 研究集会当日、受付は「**発表者受付**」で行ってください。  
試写は 12:30 から各会場で行えます。ランチョンセミナー会場の第1～3会場は、13:15 からになります。**座長との打ち合わせ時間 13:15 には必ず会場に集まって下さい。**パソコンは、発表演台に設置しますので、操作者は不要です。必要な方は、演台に2人上がることになります。

## H30年 分科会ポスターセッション発表の方へ

固定チームナーシング全国集会 事務局

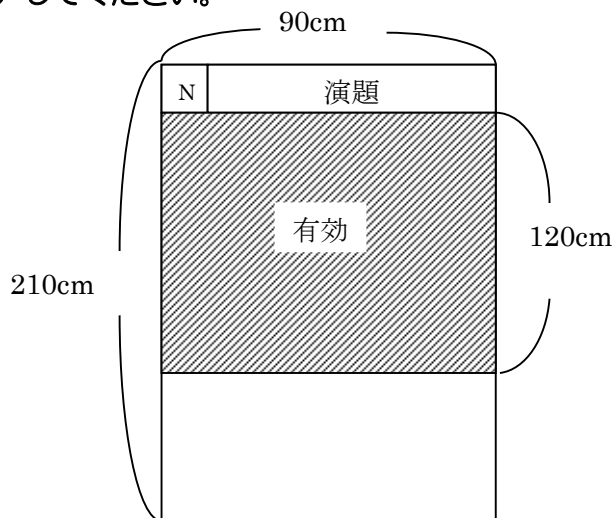
参加者とディスカッションしながら深めていくポスターセッションは例年人気が高いです。ポスターの前に立った参加者に呼びかける見やすいものをご準備ください。

- ポスター掲示板（メッセージボード） 90cm×210cm 1台  
有効 縦 120cm です。 下図を参考にしてください  
資料 No をボードの上 20cm×20cm に貼り付けます（事務局で準備）  
演題（縦 20cm×70cm で作成）を必ず各自で準備して持参してください

- A3サイズのポスターが8～10枚（有効8枚）は掲示できます  
カラフルで3メートルくらい離れてもはっきり見えるよう作成してください  
模造紙全紙を活用するのもよし、パワーポイントの原稿をプリントして拡大しても見やすいものができます。
- 長テーブルを1台準備しますので、資料や現物などを展示できます。  
資料など（ポスター以外）を別に展示するときはファイルやクリアケースに入れるなどして、大切な資料を参加者がうっかり持ち帰るなどで紛失することのないようご注意ください
- 資料の配布は自由です。200部くらい必要です。自分たちで責任をもって対処してください。資料だけをもらいに来る参加者もいてすぐなくなります。配布方法を工夫してください。1施設1部と決めておくのもいいでしょう。繰り返しますが資料の配布は自由です。
- 会場にコピー機はありません。差し棒など必要ならご持参ください  
ポスターを掲示するテープや画鋏などは事務局で準備します
- 沢山の参加者です。対応には各自で責任をもってください。困ったときは座長が援助します。遠慮なくSOSを。

- 研究集会当日：9月15日 受付は一般受付ではなく「発表者受付」で受け付けて下さい。  
12:00～13:00に資料Noの所にポスターを貼ってください。  
13:15に会場集合（座長と打ち合わせ）してください。

- 設定時間内（13:40～15:10）は  
会場での交流を中心に各群の座長1名  
と相談してすすめてください。  
発表する時は3分以内で要約して紹介  
ください。マイクは使えません。



# 平成30年固定チームナーシング研究会全国集会分科会プログラム

平成30年9月15日(土) 13:40~17:00

## 第1会場 2群 11題

座長 1 「  
2 「  
3 「

### 〈I群〉 チームリーダー・日々リーダーの育成 5題 13:40~14:55

資料No.

- |   |   |         |              |
|---|---|---------|--------------|
| 1 | 日々リーダーが育つ環境づくり(分散教育)<br>~業務調整シートを活用しリーダーシップを発揮する~                   | レイモン 美保 | イムス富士見総合病院   |
| 2 | 中堅看護師の存在意義の重要性を認識した人材育成   | 梅村 泰子   | 郡上市民病院       |
| 3 | 固定チームナーシングでの日々リーダー育成(分散教育)<br>患者の離床を促す業務調整を通して行う日々リーダートレーニング<br>の成果 | 皆川 由美子  | イムス三芳総合病院    |
| 4 | 当院における固定チームナーシング目標設定研修のあり方  | 脇 牧     | 愛知県厚生連江南厚生病院 |
| 5 | 固定チームナーシング推進に向けた活動報告<br>~現状分析からチームリーダー・サブリーダーの集合教育を行って              | 伊藤 加代子  | 名古屋市立大学病院    |

### 〈II群〉 推進委員会の活動 6題 15:10~16:40

資料No.

- |    |  |        |              |
|----|--|--------|--------------|
| 6  | 固定チームナーシング導入研修の取り組み<br>グループオリジナル導入チェックリストの現状から見えた問題点 | 五藤 美和  | IMSグループ本部事務局 |
| 7  | 当院におけるチームリーダー・サブリーダー研修会の効果を考える<br>~委員会活動を通して評価する~    | 大川 美代子 | 自治医科大学附属病院   |
| 8  | 看護管理者(看護科長)の育成をめざして<br>部署の現状分析を看護科長間でディスカッションした効果と課題 | 高橋 佳恵  | 医療法人愛全会 愛全病院 |
| 9  | 組織目標達成への看護管理者育成<br>~個々のやりがい・自己実現達成への意思決定支援~          | 小阪 マリ子 | JCHO徳山中央病院   |
| 10 | 固定チームナーシングの活性化によるWLBの取り組み                            | 春木 邦恵  | 奈良県西和医療センター  |
| 11 | 固定チームナーシング導入10年目の評価<br>-看護提供方式を再考する学習会の取り組み-         | 高野 洋子  | 長浜赤十字病院      |

## 第2会場 2群 11題

座長 4 「  
5 「  
6 「

### 〈I群〉 看護補助者の育成 6題 13:40~15:10

資料No.

- |    |                                       |        |              |
|----|---------------------------------------|--------|--------------|
| 12 | 看護助手の看護チーム配置への取り組み<br>~看護管理者としての介入~   | 今福 直美  | 半田市立半田病院     |
| 13 | 医療アシスタント(看護補助者)リーダー会の取り組みと今後の課        | 櫻本 伊津子 | 津山中央病院       |
| 14 | 看護補助者に関する患者満足度の向上を目指した取り組み            | 古俣 真由美 | 三友堂病院        |
| 15 | 看護師と医療クラークの協働<br>~看護師の業務負担軽減に向けた取り組み~ | 田中 愛沙  | 医療法人拓誠会 辻村病院 |
| 16 | チームの一員として看護補助者業務の質向上に向けて              | 森 佳恵   | 和泉市立総合医療センター |
| 17 | 当院における看護助手チームの活動                      | 中橋 恵子  | 市立宇和島病院      |

### 〈II群〉 新人ナースの育成 5題 15:25~16:40

資料No.

- |    |  |       |                   |
|----|--|-------|-------------------|
| 18 | 新人育成に経験録を用いた外科病棟での実践報告(第1報)                | 渡辺 友里 | 益田赤十字病院           |
| 19 | 新生児医療センターにおける新人看護師にペア受持ち経験録を用<br>いた分散教育の導入 | 菊地 直幸 | 豊橋市民病院            |
| 20 | 急性期病棟における新人育成のペア受け持ち経験録を用いた分<br>散教育の導入     | 市川 礼子 | 豊橋市民病院            |
| 21 | 新人看護師教育の現状と課題<br>新人教育に先輩とのペア受け持ち方式を導入して    | 片山 美帆 | IMSグループ 高島平中央総合病院 |
| 22 | 固定チームナーシング導入施設における新人看護師の夜勤導入<br>教育の実態調査    | 小澤 知子 | 東京医療保健大学          |



# 平成30年固定チームナーシング研究会全国集会分科会プログラム

平成30年9月15日(土) 13:40~17:00

## 第3会場 2群 11題

座長 7 「  
8 「  
9 「

### 〈I群〉受け持ち・スタッフナースの育成 パート1 6題 13:40~15:10

資料No.

- |    |   |        |                        |
|----|---|--------|------------------------|
| 23 | 床上下りハビリに対するスタッフへの意識づけ                                   | 山内 詩菜  | 郡上市民病院                 |
| 24 | イキイキ活気ある職場作りを目指して<br>～フィッシュ哲学で元気になろう～                   | 山田 あや  | 京都民医連中央病院              |
| 25 | 患者家族の要望に沿った看護の提供～個性のある統一した看護を目指して～                      | 白江 美代子 | 金沢医科大学病院               |
| 26 | 患者・家族によりそった意思決定支援にとりくんで                                 | 持田 智恵  | 大津赤十字病院                |
| 27 | チームの思いを形にできる小集団活動を目指して<br>～チームづくりにおけるチームリーダーとしての役割を考える～ | 平田 誇都子 | 米盛病院                   |
| 28 | 院内におけるチームリーダー・サブリーダー育成(集合研修)                            | 小松 淳子  | JA長野厚生南長野医療センター篠ノ井総合病院 |

### 〈II群〉受け持ち・スタッフナースの育成 パート2 5題 15:25~16:40

資料No.

- |    |   |        |             |
|----|---|--------|-------------|
| 29 | 急性期病棟における看護師経験年数の浅い組織の師長のリーダーシップ<br>～職場環境調整とチームリーダーの育成～ | 藤井 千恵子 | 医療法人宝生会PL病院 |
| 30 | 固定チームナーシングにおける受け持ち看護師の育成<br>～頭頸部癌患者の受け持ち役割の強化～          | 下田 典子  | 自治医科大学附属病院  |
| 31 | 責任ある看護の提供のための看護師長のリーダーシップ<br>～自律した受け持ち看護師の育成～           | 倉光 由里  | 鳥取赤十字病院     |
| 32 | 集合教育⇒分散教育へ 認知症 高齢患者を「見る」受け持ち看護師育成の取り組み                  | 浦島 さくら | 鶴川サナトリウム病院  |
| 33 | 看護を語るチームリーダー育成を目指して<br>～患者さんから教えられた固定チームナーシングを伝える～      | 中村 由美子 | 豊橋市民病院      |

## 第4会場 2群 11題

座長 10 「  
11 「  
12 「

### 〈I群〉地域包括ケアシステム パート1 6題 13:40~15:10

資料No.

- |    |   |        |                      |
|----|---|--------|----------------------|
| 34 | 長期入院患者の退院促進に向けた取り組み<br>～発想の転換を行う必要性を実感して～                   | 竹部 沙樹  | 独立行政法人国立病院機構鳥取医療センター |
| 35 | 認知症治療病棟における早期退院支援への取り組み<br>～固定チームナーシング導入から3年間の成果～           | 山本 正成  | 日下部記念病院              |
| 36 | 退院時排泄動作目標の本人・家族との共有に向けた取り組み<br>～本人・家族参加型排泄ケアプランを作成・実施してみよう～ | 平 ゆかり  | 整形外科松元病院             |
| 37 | 尿路変更術後患者の生きがいを支える退院支援 ～受け持ち看護師中心のチーム活動を通して～                 | 山本 有華  | 佐世保市総合医療センター         |
| 38 | チームで取り組む退院支援  | 中田 有香  | 医療法人宝生会PL病院          |
| 39 | 退院支援における病棟看護師の電話訪問活動<br>～看護の振り返りに活かす～                       | 都築 久美子 | 半田市立半田病院             |

### 〈II群〉地域包括ケアシステム パート2 5題 15:25~16:40

資料No.

- |    |  |        |                        |
|----|--|--------|------------------------|
| 40 | 退院調整の現状が共有できる取り組み  | 中村 ゆかり | 大津赤十字志賀病院              |
| 41 | 退院前訪問により生活に繋げるADLケアを実施し、在宅へ退院できた事例                                   | 戸谷 友香  | JA長野厚生南長野医療センター篠ノ井総合病院 |
| 42 | 個性のある退院指導への取り組み  | 荻野 恵子  | 市立伊勢総合病院               |
| 43 | 多職種との連携を図り早期退院を目指すための取り組み  | 川北 雄士  | 伊勢赤十字病院                |
| 44 | 急性期のオープン病院における入院前支援の導入<br>～患者が不安なく入院できるシステム作り 固定チームナーシングの小集団活動を活用する～ | 和知 洋子  | (公財)仙台市医療センター 仙台オープン病院 |

# 平成30年固定チームナーシング研究会全国集会分科会プログラム

平成30年9月15日(土) 13:40~17:00

## 第5会場 2群 11題

座長 13 「  
14 「  
15 「

### 〈I群〉地域包括ケアシステム パート3

5題 13:40~14:55

資料No.

- |    |  |        |                         |
|----|--|--------|-------------------------|
| 45 | 退院支援の評価<br>～退院後の追跡調査を通して～                  | 石原 英子  | 共立蒲原総合病院                |
| 46 | 緊急時対応についての取り組み                             | 小林 奈央美 | 社会医療法人西陣健康会堀川病院         |
| 47 | 地域包括ケア病棟としての退院支援<br>～スタッフの意識調査からみえた今後の課題～  | 松本 奈々  | 三重県立志摩病院                |
| 48 | いきいきとした療養生活を送れるようにしよう<br>～アクティビティケアをおこなって～ | 平沢 登喜子 | JA長野厚生連北アルプス医療センターあづみ病院 |
| 49 | 生活者としての患者を支える地域包括ケア病棟の看護実践                 | 高橋 律子  | 済生会江津総合病院               |

### 〈II群〉地域包括ケアシステム パート4

6題 15:10~16:40

資料No.

- |    |   |          |                                   |
|----|---|----------|-----------------------------------|
| 50 | 通所リハビリテーションにおけるチームワークシートの活用(業務)                   | 吉岡 利康    | 我孫子ロイヤルケアセンター                     |
| 51 | お互い分かり合える介護指導を目指して<br>介護指導用クリニカルパス・介護指導計画表を運用     | 介 平塚 さゆり | 公益社団法人 宮城厚生協会 坂総合病院               |
| 52 | モチベーションアップにつながるチーム活動<br>～多職種チーム編成を試みて～            | 小原 千春    | 介護老人保健施設 仁寿苑                      |
| 53 | 在宅で介護困難が生じた利用者への通所サービス利用への支援<br>～訪問介護に小集団活動を導入して～ | 屋 ます江    | 有限会社わんわんネット                       |
| 54 | 医療と介護の「なせばなるプロジェクト」<br>顔の見える地域連携構築に向けた取り組み        | 高橋 廣子    | 三友堂病院                             |
| 55 | 大規模複合型介護施設におけるシステム構築と分散教育による固定チームナーシング推進・定着の取り組み  | 猪股 恵子    | IMSグループ クローバーのさと<br>イムスホーム カウピリ板橋 |

## 第6会場 2群 11題

座長 16 「  
17 「  
18 「

### 〈I群〉多様な現場の小集団活動 パート1

5題 13:40~14:55

資料No.

- |    |  |        |                          |
|----|--|--------|--------------------------|
| 56 | 病棟での手術前インフォームドコンセント同席率向上に向けての取           | 濱口 香絵  | 伊勢赤十字病院                  |
| 57 | 術前カンファレンスの新たな取組み<br>一周術期看護を通して～          | 野中 身江子 | 宗教法人聖フランシスコ病院会 聖フランシスコ病院 |
| 58 | 急性期から取り組む意思決定支援 ～慢性心不全終末期患者を<br>通して～     | 荒井 愛   | 大津赤十字病院                  |
| 59 | 心不全患者へ集団指導を行ってみて                         | 丸山 裕子  | JA長野厚生連北アルプス医療センターあづみ病   |
| 60 | アレルギー・リウマチ科の入院患者にADL低下予防に対する看護<br>介入を行って | 柴田 真奈美 | 自治医科大学附属病院               |

### 〈II群〉血液透析領域の取り組み

6題 15:10~16:40

資料No.

- |    |   |        |                  |
|----|---|--------|------------------|
| 61 | 情報共有と患者の個別性を重視した看護を目指して<br>～患者カンファレンスと看護記録の充実～  | 新谷 由美  | JA山口厚生連 小郡第一総合病院 |
| 62 | 透析における医療用テープ適正使用への取り組み                          | 杉田 敬子  | 医療法人宝生会PL病院      |
| 63 | 透析センターのフットチェックの取り組み                             | 前平 成都  | 岡山協立病院           |
| 64 | 透析室における固定チーム導入<br>～チームリーダーの育成をめざして～             | 夏原 さと代 | 京都民医連中央病院        |
| 65 | 透析患者の療養継続のための取り組み                               | 野呂 輝美  | 市立伊勢総合病院         |
| 66 | CAPD緊急トラブル時における体制整備<br>～患者が安心してCAPDを継続していけるために～ | 岸田 浩美  | 長浜赤十字病院          |

# 平成30年固定チームナーシング研究会全国集会分科会プログラム

平成30年9月15日(土) 13:40~17:00

## 第7会場 2群 11題

座長 19 「  
20 「  
21 「

### 〈I群〉地域包括ケアシステム パート5 5題 13:40~14:55

資料No.			
67	看護職員と看護補助者の協働のためのパティ制導入の検討	加藤 彩	総合青山病院
68	回復期病棟において安全安楽に過ごすためのリハビリ技術統一化をめざして	近藤 タ子	整形外科松元病院
69	患者・家族の意思を尊重した在宅療養支援を目指して ～思いをつむぐノートを活用した意思決定支援～	竹上 朱美	亀岡市立病院
70	自己血圧管理の生活指導の充実に向けた取り組み	首藤 沙織	総合青山病院
71	安全な服薬自己管理の早期開始を目指す ～服薬フローチャートを作成して～	野田 綾美	総合大雄会病院

### 〈II群〉地域包括ケアシステム パート6 6題 15:10~16:40

資料No.			
72	多職種チームでその人らしさを支える在宅療養支援 ～日々リーダーの役割を実践して～	大槻 智美	亀岡市立病院
73	地域包括ケア病棟における休日リハビリ支援と試験外泊支援シートの活用	林田 真紀	長崎県島原病院
74	在宅復帰に向けたADL向上の取り組み ～看護補助者気づきノートを活用して～	藤田 貴絵	済生会広島病院
75	回復期病棟における「多職種と協働した起立訓練の取り組み」の	福島 リナ	荒尾市民病院
76	回復期リハビリテーション病棟における更衣・整容動作の自立に向けた介入 ～セラピスト・看護補助者と協働して～	本多 理恵	地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合リハビリテーションセンター
77	整形外科患者を対象にした退院支援のとらえ方第II報	村上 喜代美	地方独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県総合リハビリテーションセンター

## 第8会場 2群 11題

座長 22 「  
23 「  
24 「

### 〈I群〉急性期領域の取り組み パート1 5題 13:40~14:55

資料No.			
78	挿管患者の適切な鎮痛管理ー明日の浅鎮静のためにー	近藤 裕	公益財団法人 宮城厚生協会 坂総合病院
79	救急患者の救外滞在時間短縮と初期対応充実に向けて	倉澤 冴子	長野松代総合病院
80	統一した離床の評価・実施への取り組み	荒木 彩華	石巻赤十字病院
81	出血性ショック初期対応チェックリストを使用した初期輸液療法の	池田 千津	市立宇和島病院
82	新規無気肺発生の予防に向けた取り組み	松浦 雅子	市立宇和島病院

### 〈II群〉急性期領域の取り組み パート2 6題 15:10~16:40

資料No.			
83	ICU CCUでの効果的なシミュレーションの作成	北原 佐津貴	伊那中央病院
84	急変対応のスキルアップに向けた取り組み ～3チーム合同での小集団活動を通して～	高村 亜希	佐世保市総合医療センター
85	HCU入室患者の個別要因からリスクアセスメントを行った褥瘡予防	岡野 由実	医療法人宝生会PL病院
86	食道手術患者におけるICU入室前訪問の取り組み ～看護補助者として患者の希望や想いを尊重した関わり～	吉岡 由香	JCHO徳山中央病院
87	転倒・転落予防に関するチームの取り組みについて ～整形・脳外科・混合病棟における取組～	松本 鋭志	医療法人 須崎くろしお病院
88	ADLを低下させないための看護～バーセルインデックスを活用し	日下 和也	名古屋市立大学病院



# 平成30年固定チームナーシング研究会全国集会分科会プログラム

平成30年9月15日(土) 13:40~17:00

## 第9会場 2群 11題

座長 25 「  
26 「  
27 「

### 〈I群〉高齢者のケア パート1 6題 13:40~15:10

資料No.

- |    |                                       |        |                |
|----|---------------------------------------|--------|----------------|
| 89 | 転倒・転落防止対策の意識改善への取り組み<br>～身体拘束低減をめざして～ | 岡橋 碧   | 南和広域医療企業団吉野病院  |
| 90 | 身体拘束の低減を目指した抑制の在り方の検討                 | 中村 信子  | 南和広域医療企業団 吉野病院 |
| 91 | 身体拘束ゼロに向けた取り組み<br>～尊厳を重視した療養環境を目指して～  | 生井萌子   | 石巻赤十字病院        |
| 92 | 転倒ゼロを目指して                             | 新道 典子  | JCHO徳山中央病院     |
| 93 | 効果的なリハビリに繋げる排泄支援の取り組み                 | 高橋 このみ | 郡上市民病院         |
| 94 | せん妄予防と病棟リハビリ導入に向けて                    | 田中 奈那  | 名古屋市立大学病院      |

### 〈II群〉高齢者のケア パート2 5題 15:25~16:40

資料No.

- |    |   |        |              |
|----|---|--------|--------------|
| 95 | 看護補助者の中央部門体制による成果<br>指示待ちから主体的活動へ                   | 高橋 純子  | 石巻赤十字病院      |
| 96 | チームで取り組む高齢者終末期看護<br>～ジョンセンの4分割シートの活用とデスカンファレンスに取り組ん | 森 美幸   | 大津赤十字志賀病院    |
| 97 | 高齢者が安心して安全な入院生活を送れることをめざして<br>～看護補助者としての関わり         | 木下 須美子 | JCHO徳山中央病院   |
| 98 | チームで取り組む認知症ケア<br>～BPSD軽減を目指したカンファレンスの導入～            | 川崎 宏司  | 大津赤十字病院      |
| 99 | KTバランスチャートを使用し高齢者の食べる力を出せる支援                        | 山本 さとみ | 島根県済生会江津総合病院 |

## 第10会場 2群 9題

座長 28 「  
29 「  
30 「

### 〈I群〉手術室看護 パート1 5題 13:40~14:55

資料No.

- |     |   |        |  |
|-----|---|--------|--|
| 100 | 手術室での急変時対応シミュレーション学習の実施                         | 小村 賢治  | 長崎県島原病院                                |
| 101 | 手術室看護助手チームの業務拡大                                 | 滝澤 まり子 | 半田市立半田病院                               |
| 102 | 週1回稼働の手術室におけるパートナーズの人材育成                        | 入江 公仁代 | 地方独立行政法人奈良県立病院機構<br>奈良県総合リハビリテーションセンター |
| 103 | 手術室看護の質向上に向けた小集団活動の為にチーム編成                      | 宮前 幸司  | 地方独立行政法人 奈良県立病院機構<br>奈良県西和医療センター       |
| 104 | 心臓カテーテル検査・治療を受ける患者の加温対策<br>～関連部署との連携によって得られた効果～ | 久保田真希  | 飯田市立病院                                 |

### 〈II群〉手術室看護 パート2 4題 15:10~16:10

資料No.

- |     |  |        |             |
|-----|--|--------|-------------|
| 105 | 手術室における地震発生時の取り組み<br>シナリオシミュレーションを外科医と実施して | 三浦 善佳  | 三重県立志摩病院    |
| 106 | 「手術室における固定チームナーシング導入計画」                    | 海老原 絹子 | IMS東京葛飾総合病院 |
| 107 | 効果的な小集団活動へのアプローチ<br>～手術スタッフのやる気スイッチをさがして～  | 木下 恵太  | 市立宇和島病院     |
| 108 | 手術決定時から退院までを見据えた看護展開を目指して                  | 種田 美穂  | 市立長浜病院      |

# 平成30年固定チームナーシング研究会全国集会分科会プログラム

平成30年9月15日(土) 13:40~17:00

## 第11会場 2群 10題

座長 31 「  
32 「  
33 「

### 〈Ⅰ群〉外来看護の取り組み パート1 5題 13:40~14:55

資料No.

- |     |  |        |               |       |
|-----|--|--------|---------------|-------|
| 109 | 内視鏡機器関連における一連の対策と結果について                  | 青柳 雅貴  | 公益財団法人宮城厚生協会  | 坂総合病院 |
| 110 | Doortoballoontime90分以内を目指して              | 高野 敦子  | JA長野厚生連北信総合病院 |       |
| 111 | 外来における患者カンファレンスの取り組み                     | 森尾 みづほ | 鳥取県立中央病院      |       |
| 112 | 外来から支える在宅療養支援を目指して<br>～在宅療養支援の見える化計画～    | 宇治 小真紀 | 亀岡市立病院        |       |
| 113 | 外来に於ける継続看護の取り組み ～記録の充実と外来カンファレンス定例化にむけて～ | 松居 朱理  | 大津赤十字志賀病院     |       |

### 〈Ⅱ群〉外来看護の取り組み パート2 5題 15:10~16:25

資料No.

- |     |  |        |                        |  |
|-----|--|--------|------------------------|--|
| 114 | 整形外科外来における骨粗鬆症患者の看護実践                              | 梅田 明美  | 医療法人宝生会PL病院            |  |
| 115 | 外科外来における意思決定支援の取り組み<br>～エンドオブライフ移行期の意思決定支援に焦点を当てて～ | 早川 舞   | 名古屋市立大学病院              |  |
| 116 | 外来における継続支援の充実<br>～CPAP療法を受ける患者のアドヒアランス向上に向けて～      | 吉田 ひとみ | 社会医療法人西陣健康会堀川病院        |  |
| 117 | 外来の働き方改革<br>～チームの応援体制と残業削減～                        | 花村 典子  | 津山中央病院                 |  |
| 118 | 外来における応援機能の構築<br>～応援機能を定着させることで生まれた外来の継続看護～        | 青木 涼子  | JA長野厚生南長野医療センター篠ノ井総合病院 |  |

## 第12会場 2群 10題

座長 34 「  
35 「  
36 「

### 〈Ⅰ群〉母性領域での取り組み 6題 13:40~15:10

資料No.

- |     |  |        |              |  |
|-----|--|--------|--------------|--|
| 119 | 災害時初期対応のマニュアル整備                            | 伊藤 容子  | 半田市立半田病院     |  |
| 120 | 育児期までの切れ目ない継続支援の充実を目指して～産後2週間健診・教室の開催と確立～  | 大矢 梨紗子 | 名古屋市立大学病院    |  |
| 121 | 分娩後早期からの母児同室<br>～育児技術の習得を促し、母親の自信につなげるために～ | 岡田 公子  | 医療法人宝生会PL病院  |  |
| 122 | 保健指導の充実をめざした取り組み<br>～2週間健診を導入して半年の結果と考察～   | 佐野 こころ | 津山中央病院       |  |
| 123 | 超緊急帝王切開の定期的なシミュレーション実施による迅速な対応への取り組み       | 宮本 由子  | 佐久市立国保浅間総合病院 |  |
| 124 | 妊産婦のメンタルヘルスケア                              | 高野 あづさ | 長浜赤十字病院      |  |

### 〈Ⅱ群〉小児領域での取り組み 4題 15:25~16:25

資料No.

- |     |                              |        |                |  |
|-----|------------------------------|--------|----------------|--|
| 125 | 小児入院患者の家族感染拡大予防による取り組み       | 細川 佳織  | JA愛知厚生連 稲沢厚生病院 |  |
| 126 | 手術を受ける患児へのプレパレーション導入に向けた取り組み | 山脇 希和  | 医療法人宝生会PL病院    |  |
| 127 | 多職種協働で産後の母に寄り添った育児支援         | 田中 せりか | 総合大雄会病院        |  |
| 128 | 小児病棟における2年間チームリーダーを固定する取り組み  | 川畑 仁美  | 関西医科大学附属病院     |  |

# 平成30年固定チームナーシング研究会全国集会分科会プログラム

平成30年9月15日(土) 13:40~17:00

## 第13会場 2群 11題

座長 37 「  
38 「  
39 「

### 〈I群〉 スキンケア・口腔ケア パート1 6題 13:40~15:10

資料No.

- |     |  |        |                        |
|-----|--|--------|------------------------|
| 129 | 小集団活動を活用したストーマケアについての取り組み                          | 渡邊 貴之  | 富士吉田市立病院               |
| 130 | ストーマ装具交換手技の標準化と指導実践力向上への取り組み<br>~DVD作成とロールプレイを用いて~ | 中田 香織  | 大雄会第一病院                |
| 131 | ストーマ管理の自立に向けたストーマカンファレンスの取り組み                      | 当麻 裕美  | 公益財団法人宮城 宮城厚生協会 坂総合病院  |
| 132 | ストーマ患者の退院支援<br>~パンフレットの社会福祉情報充実を目指して~              | 田辺 舞   | 医療法人宝生会PL病院            |
| 133 | 整形外科病棟における踵の医療関連機器圧迫創傷減少への取り組み                     | 老野 智江子 | JA長野厚生連北アルプス医療センターあづみ病 |
| 134 | 入院初期から関わるフットケア・スキンケア                               | 佐野 茉季  | 長浜赤十字病院                |

### 〈II群〉 スキンケア・口腔ケア パート2 5題 15:25~16:40

資料No.

- |     |   |        |                                |
|-----|---|--------|--------------------------------|
| 135 | 介護スタッフで行う『皮膚の保湿ケア』                          | 大迫 由美  | 整形外科松元病院                       |
| 136 | チームで取り組むスキンケア・口腔ケアの実践<br>~患者の個別性に合わせたケアの工夫~ | 大坪 千春  | 医療法人宝生会PL病院                    |
| 137 | 院内口腔ケアチームと連携した口腔ケアの充実                       | 田口 葵   | 独立行政法人 奈良県立病院機構<br>奈良県西和医療センター |
| 138 | “苦痛を心地よさにかえる”ユマニチュードを活用した口腔ケアの実践            | 長谷川 由美 | 島根県済生会江津総合病院                   |
| 139 | 消化器癌患者の周術期における口腔ケアについて                      | 加藤 夕季  | 自治医科大学附属病院                     |

## 第14会場 4群 36題 ポスターセッション同時開催 13:40~15:10

### 〈I群〉 急性期領域の取り組み パート3 12題 13:40~15:10

資料No.

- |     |   |        |                 |
|-----|---|--------|-----------------|
| 140 | 安全な救急・アンギオ室の看護を患者に提供するための取り組み   | 井上 晴美  | 社会医療法人西陣健康会堀川病院 |
| 141 | 脊椎手術後のPCA自己投与による疼痛緩和への取り組み  | 寺澤 成美  | JA愛知厚生連江南厚生病院   |
| 142 | 開腹手術を受ける患者の手術後の早期離床に対する介入<br>~パンフレット説明時に離床の動画を取り入れて~                  | 塚原 美智  | 飯田市立病院          |
| 143 | 術後患者の離床頻度増加を目的とした活動が看護師の離床に関する意識と<br>膀胱留置カテーテル留置期間、尿器設置率に及ぼした効果       | 柿本 麻衣  | 豊橋市民病院          |
| 144 | 術後の安全な早期離床を目指して   | 伊藤 美穂  | 伊那中央病院          |
| 145 | HCUにおける安全な療養環境作りを目指した取り組み   | 下瀬 史美  | 益田赤十字病院         |
| 146 | 頭頸部外科 皮弁移植術患者に対するせん妄予防に向けた取り組み  | 西村 武志  | 関西医科大学附属病院      |
| 147 | チーム活動の成果<br>~術後せん妄患者への取り組み~   | 河島 説子  | 北播磨総合医療センター     |
| 148 | 手術室に於ける帝王切開術後の上肢痛への取り組み   | 古屋 千尋  | 松本市立病院          |
| 149 | 開胸手術患者用「入院ケア計画書」の運用経過   | 吉田 真菜  | 関西医科大学附属病院      |
| 150 | 患者がより安心・安全に手術を受けられる環境を提供するための<br>取り組み<br>~泌尿器科手術のシミュレーションと術後振り返りを行って~ | 田中 亜由美 | 社会医療法人西陣健康会堀川病院 |
| 151 | 泌尿器周手術期における患者指導<br>~患者指導用パンフレットを作成して~                                 | 小林 瑞希  | 社会医療法人西陣健康会堀川病院 |

# 平成30年固定チームナーシング研究会全国集会分科会プログラム

平成30年9月15日(土) 13:40~17:00

## 〈Ⅱ群〉地域包括ケアシステム

6題 13:40~15:10

座長 41

「

資料No.

- |     |   |       |                   |
|-----|---|-------|-------------------|
| 152 | 外来で取り組んだ在宅療養支援<br>～外来療養支援フローチャートを活用した取り組み～                | 木原 正子 | 鳥取市立病院            |
| 153 | 院内と地域の医療従事者を対象とした緩和ケア病棟研修の評価<br>～地域包括ケア時代の緩和ケア病棟チームの取り組み～ | 前川 祐子 | 地方独立行政法人 市立大津市民病院 |
| 154 | 主介護者が高齢の認知症で困難と思われていた在宅看取りが実現した一症例                        | 柳澤 亮子 | 長野松代総合病院          |
| 155 | 療養病棟における患者参画型看護計画への取り組み                                   | 小林 悠  | 大津赤十字志賀病院         |
| 156 | 患者の状態を把握し、ADL回復・栄養の視点を高め<br>患者の個別性に合わせた包括的な評価に基づいた看護      | 東 成真  | 社会医療法人西陣健康会堀川病院   |
| 157 | 認知症患者の個別性をふまえた環境整備・対応に取り組んで                               | 城下 静香 | 社会医療法人西陣健康会堀川病院   |

## 〈Ⅲ群〉スキンケア・口腔ケア パート3

7題 13:40~15:10

座長 42

「

資料No.

- |     |                                  |        |             |
|-----|----------------------------------|--------|-------------|
| 158 | 口腔ケアを継続的に実施するための取り組み             | 寶田 紗他  | 津山中央病院      |
| 159 | 抗がん剤治療を受ける血液腫瘍内科患者の口内炎予防とセルフケア指導 | 曾我部 朱美 | 四国ガンセンター    |
| 160 | 血液腫瘍内科病棟における多職種と連携した口腔ケアの方法      | 脇田 愛子  | 関西医科大学附属病院  |
| 161 | 口腔ケアの統一化と意識向上による誤嚥性肺炎予防への取り組み    | 長峯 亜由子 | 益田赤十字病院     |
| 162 | チームで取り組む経管栄養患者への口腔ケア             | 徳田 恵   | NHO鳥取医療センター |
| 163 | ストーマセルフケア指導における取り組み              | 西田 佳奈美 | 荒尾市民病院      |
| 164 | 看護補助者の清潔ケアにおける患者情報共有方法改善の取り組み    | 小林 千織  | 飯田市立病院      |

## 〈Ⅳ群〉多様な現場の小集団活動 パート2

11題 13:40~15:10

座長 43

「

資料No.

- |     |   |         |                   |
|-----|---|---------|-------------------|
| 165 | 患者の希望に寄り添うための介入 ～希望確認シートを用いて～                             | 薄田 明奈   | 四国がんセンター          |
| 166 | NST回診における意識改革の効果  | 光本 由紀子  | 社会医療法人三栄会ツカザキ記念病院 |
| 167 | 主体的な行動変容を促す支援<br>～特定保健指導受診勧奨活動を通して～                       | 坂田 希    | 社会医療法人西陣健康会堀川病院   |
| 168 | 言語的コミュニケーションのとれない患者への関わり<br>～思いを汲み取ることから学んだこと～            | 池本 恵美   | NHO鳥取医療センター       |
| 169 | その人らしい生活を送るための化学療法における曝露対策とカンファレンスの充実に向けた取り組み             | 川崎 喜洋子  | 社会医療法人西陣健康会堀川病院   |
| 170 | 緩和ケア病棟での倫理カンファレンス導入の取り組み                                  | 村上 毅    | 北見赤十字病院           |
| 171 | 急性期混合病棟での効果的なカンファレンスの取り組み<br>～若手の多いチームで取り組む患者ケアの質向上を目指して～ | 大上野 佐江子 | 横浜旭中央総合           |
| 172 | 災害を想定し、日常の備えについて患者と共に学ぶ<br>～災害時の患者の生活に視点を置いた取り組み～         | 吉武 覚子   | JA山口厚生連 小郡第一総合病院  |
| 173 | 人間ドック・健診における精密検査受診率向上に向けた取り組み                             | 岩田 麻美   | 松本市立病院            |
| 174 | 益田赤十字病院における<br>固定チームナーシング推進委員会活動の<br>実践と評価                | 島田 則子   | シニア               |
| 175 | 看護実践能力評価に固定チームナーシング役割業務チェックリストを活用した業務ラダー評価の作成・運用          | 近藤 世音子  | 飯田市立病院            |